



・グループで自己紹介



・グループ内で自由に意見を出し合う



・話し合った内容を発表

主な課題

次回以降のワークショップで、周辺地域との協議や同意をふまえて検討・解決していきます。

■入口が西側道路面に1ヶ所しかない。

・通り抜け通路（出入口）の確保として、敷地裏水路敷の蓋掛けや、民地への通路の設置がある。

■トイレ設置の要望。

・要・不要を、予算や維持・管理、周辺地域の同意などの条件をふまえて検討する。

■ふよう原ハイツ側の生垣（カイズカイブキH=3.5m）が公園内への見通しを遮っている。

・安全・安心の面から、ふよう原ハイツ管理組合との協議が必要。

予告

今回のワークショップでは、今回出された上記課題の検討・解決と、大まかな公園のゾーン（休憩・遊具・運動等）の配置や広さ（大きさ）の検討を現地で行います。

課題の解決にあたり、計画地周辺（ふよう原ハイツや原西団地）にお住まいの方のご意見を伺いたいと思っていますので、次回以降のワークショップに是非ご参加ください。

なお、（仮称）原北田公園整備についてのご意見・ご要望等を受け付けています。受け付けた内容につきましては、次回以降のワークショップで取り上げ、検討致します。

受付先

大原校区自治協議会会長

原3丁目2区自治会長 安部 哲法 TEL 846-5154

原3丁目3区町内会長 小島 吉正 TEL 843-2410

次回は現地に行ってイメージの確認をします！どなたでも参加できます。



次回のお知らせ

第2回

「グループで新しい公園のすがたを描きましょう」

平成26年8月2日（土）開始10:00～12:00

会場：大原公民館 現地に行きますので早めに会場までお集まりください。

担当：福岡市住宅都市局みどり整備課 高宗・伊藤・浜部

電話：092-711-4410 FAX：092-733-5590

メール：midoriseibi.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

（仮称）原北田公園整備 ワークショップニュース

1

福岡市では、早良区大原校区（原3丁目）に新しく「（仮称）原北田公園」の整備計画を進めています。地域の皆さまに親しまれる公園になるよう、地域、行政、専門家が一緒になって10月まで約4回にわたり、計画案づくりのワークショップ（話し合い）を開催します。どなたでも参加できます。多数の参加をお待ちしています。

ワークショップスケジュール

7月12日（土）に第1回（仮称）原北田公園整備ワークショップを開催しました。計29名のみなさんが参加し、新しく誕生する「（仮称）原北田公園」について語りました。

1

みんなで新しい公園について語りましょう
平成26年7月12日（土）
10:00～12:00 大原公民館



2

グループで新しい公園のすがたを描きましょう
平成26年8月2日（土）
10:00～12:00 大原公民館

3

みんなの計画案をまとめましょう
平成26年9月6日（土）
10:00～12:00 大原公民館

4

これがみんなの新しい公園です
平成26年10月4日（土）
10:00～12:00 大原公民館

当日のスケジュール

■話し合いの目的・スケジュール

(10:00～10:15)

■計画地周辺の現況と分析

(10:15～10:30)

■グループ作業

・新しい公園をどんな公園にしたいですか？

(10:30～11:40)

■発表・まとめ

(11:40～12:00)

第1回がスタートしました

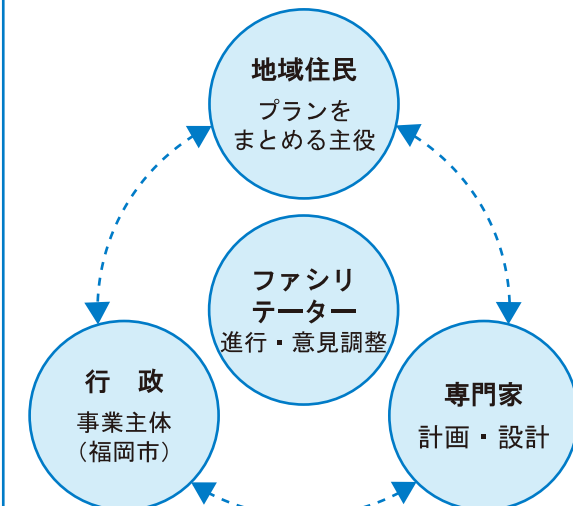
公園が整備されるまでのスケジュールや、ワークショップとは何か？を説明し、地域の方々の公園に対する意見を聞きながら進行して行きました。



・ワークショップ開催の挨拶

ワークショップとは

参加者が主体的に関わりながら、参加者みんなが作業を通して合意形成を行っていく場のことです。



計画地の分析

計画地の敷地条件と、周辺から公園へのアクセスについて、把握を行いました。



・通りから原西団地を望む



・敷地裏水路（北側）



・敷地裏水路（南側）

原西団地側には成長したケヤキやクスノキがある

敷地裏には用水路が通っている



入口が西側1箇所のみで、奥行き長い敷地

・計画地のシミュレーション【2014年6月21日（夏至）AM 7:00】



・通りに面した西側公園入口



・通りから公園内への見通し



・ふよう原ハイツから計画地を望む

新しい公園をどんな公園にしたいですか？

各グループとも、大きく分けて防犯・防災、施設、広場についての意見が多く、主な課題として、出入口が1ヶ所のみであることや、トイレの必要性、公園内への見通しの悪さなどが出されました。

広場

- ・グラウンドゴルフが出来る公園
- ・ミニサッカー、バスケットができる広さ
- ・ドッチボールはしていない
- ・大人と子どもが遊べる広場
- ・幼児、小学生が好んで遊べる遊具施設
- ・3つのゾーンに分ける（遊具、スポーツ、憩いの場）
- ・ハナミズキがほしい
- ・四季を楽しめる木々を

施設

- ・トイレは必要
- ・管理が大変なのでトイレは不要
- ・高齢者が憩えるベンチ、テーブルの設置
- ・ベンチは多いが、テーブルが少ない
- ・日陰に藤棚があるとよい
- ・フェンスを高く（ボールとフェンスの関係を検討）
- ・砂場はつくらない
- ・砂場には犬猫対策（フェンス）が必要
- ・舞台がほしい（祭のできる公園）

防犯・防災

- ・子ども、高齢者が気軽に立ち寄れる公園
- ・地域にとって安全な公園
- ・たまり場にしない
- ・緊急時に2方向の出入口（通路）の確保
- ・裏道（水路敷）を活用
- ・民地（隣接マンション）への通路の設置
- ・痴漢等の逃げ場になる為、2方向の出入口（通路）はほらない
- ・入口は1カ所がいい
- ・防犯カメラの設置
- ・夜は暗くならないように照明の設置（奥が暗くならないように）
- ・公園内の見通しがきくように

その他（公園名称）

- ・公園名は親しみのある名前をつける
- ・大原はなみずき公園
- ・大原ひまわり公園
- ・名称公募



・各グループとも、防犯・防災についての意見が多く、安全で安心な公園にしたい、という思いが強くなりました。